



プレスリリース

2012年9月24日

エレーヌ・コンウェイ＝ムレ在外フランス人担当大臣が 東京国際フランス学園の開校式に出席

東京国際フランス学園の開校式が10月9日（火）15時、フランス側からエレーヌ・コンウェイ＝ムレ在外フランス人担当大臣、クリスチャン・マセ駐日フランス大使、フランス在外教育機構（AEFE）のアンヌ＝マリー・デコート理事長、日本側から本校設置計画の関係当局の代表者が出席して挙行されます。

10月9日の開校式に続き、12日（金）から14日（日）にかけて、ショーやスポーツ試合、文学討論会、アート見学など、一連のイベントが開催されます。

東京国際フランス学園（LFIT）の開校式は、日仏関係において特に重要なステップです。というのも、本校は今年外国で開校する唯一のフランス教育機関だからです。この大規模投資はフランスが日本における存在感、中でもフランス人社会がとりわけよく溶け込んでいる地域、東京における存在感を強化したいという意思の表れです。東京・北区滝野川にある総合教育施設は2ヘクタールを超える敷地に、最新の文化・スポーツ設備・施設を備えます。東京におけるフランス教育提供の拡充が、同校によって優れた環境で図ることができます。

本校はフランス外務省が管轄するフランス在外教育機構（AEFE）所属486校の1校です。これらの学校に世界中で30万人以上の生徒が通っています。この学校網は外国に在住するフランス人の就学という任務を果たす一方、他国籍の生徒を受け入れることでフランスの存在感を媒介する重要な役割も担っています。本校は幼稚園から中等教育最終学年まで、さまざまな国籍（55カ国）の児童・生徒850人以上が在籍します。

エレーヌ・コンウェイ＝ムレ在外フランス人担当大臣は記念銘板の除幕および演説を行う予定です。

問い合わせ先

東京国際フランス学園

〒114-0023 東京都北区滝野川 5-57-37 Tel : 03-6823-6580 URL : <http://www.lfjtokyo.org>

広報担当 Alexandre DUBOS アレクサンドル・デュボス (alexandre.dubos@lfitokyo.org)